



天童温泉街の景観形成 のための財源として



Q 入湯税の税率を引き上げる自治体が出てきている。引き上げた財源を基に観光振興を図ろうとするものである。

本市においても入湯税を引き上げ、天童温泉街の景観形成や観光振興をさらに進めるための財源としてはどうか。

A 割高感により宿泊者の減少が懸念されるため、これまでと同様の税率としていく考えである。よりよい景観をつくるための財源としては、ふるさと納税等も活用していきたい。

Q 例えば「天童市は入湯税を300円にします。その税収は、観光関係の施設・設備の充実のために使わせていただきます」と明確にした上で実施すれば、それほど割高感はないのではないか。

A やはり宿泊客の動向に影響を及ぼすことが懸念される。天童温泉の事業者などの皆さまが景観形成のための取組みとしてどのようなことを考えているのかを意識共有した上で、入湯税率の引上げではなく、補助金などの特定財源を活用する方向で考えている。